

○当日の主な流れ

- ・大脇委員長により、議事が進行された。
- ・事務局から、主な取組内容やゾーニング等を取りまとめた長期構想(案)及びパブリックコメントの実施について説明し、了承をいただいた。
- ・今後、第3回委員会で頂いた意見等を反映のうえ、パブリックコメントを実施予定。

日時：令和7年2月25日（火）14時～15時30分

場所：ホテル テラス ザ ガーデン 水戸

議事次第

1. 開会
2. 港湾管理者挨拶
3. 委員長挨拶
4. 議事
 - 1) 資料説明
 - 2) 質疑応答
5. その他議事
6. 閉会

※委員・オブザーバー：25名中、19名出席（WEB・代理含む）

会議状況



○主な意見

全般

- ・環境の変化や社会情勢の動向等、予測不可能な時代に突入しているため、柔軟に対応を進めていただきたい。
- ・構想等の実現に向けて、利用者等から受け入れられる、選ばれる港づくりを心がけて進めていただきたい。

物流・産業

- ・港湾の振興には、企業立地の促進が重要であり、産業用地の確保の位置づけは大事。
- ・AIや情報通信技術等の活用は、早い段階から取り組んでもよいのではないか。

環境・エネルギー

- ・EVやFCの普及には、物流拠点となる港においても充電や水素補給ステーションの整備等が重要。
- ・気候変動への対応は、臨機応変に、柔軟に対応するものもあるが、2050年カーボンニュートラルの大目標に向けて、一貫して対応することが重要。

人流・賑わい

- ・港湾はクルーズ受入の入口であり、本質としては、観光コンテンツの連携が重要。
- ・クルーズの受入は利用調整が課題であり、暫定的なものも含めて対応が必要。

安全・安心

- ・気候変動により、港湾への高潮時等の浸水対応についても検討することが重要。
- ・有事の際の東京港のバックアップ機能として、事前に具体的なアクションプランを立てておくべきである。

